



令和7年度羽田中学校だより

天空の橋

令和7年4月11日

目指す生徒像…

HHeart
Never Give Up
Do Our Best

大田区立羽田中学校

式辞

新しいスタートを祝うかのような、満開の桜が咲く中での入学式となりました。

本日、中学校に入学される87名の新入生のみなさん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。みなさんを心より歓迎します。みなさんが入学したこの羽田中学校は、70有余年を上回る伝統を受け継ぎ、多くの地元の皆様から愛されている学校です。羽田中学校の生徒であるという自覚と誇りをもち、上級生と共に羽田中学校をよりよい学校にしていってほしいと思います。

さて、羽田中学校では、昨年度から「おおた国際教育」の研究推進校となりました。今年度は、バーチャルでの没入体験ができるOGCルームができ、国際教育を本格的に推進することとなります。皆さんが羽田中学校で3年間を過ごすことで、ぜひ国際的に活躍できる、国際人としての能力の基盤を身につけてほしいと思っています。では、国際人としての能力とはどのようなものなのでしょうか。羽田中学校が3年間を通して育てたい人物像となりますので、ご紹介したいと思います。

まず、一つ目にあげられるのがコミュニケーション能力です。いろいろな文化をもつ海外の方とも物怖じせず話ができることは、国際的に活躍するために重要なことです。そのために、世界で多く使われている言葉、英語を学びます。受験のためではない、実際にコミュニケーションをとるための学習ができる環境を羽田中では整えていきます。ただし、英語ができることは国際人としての絶対的な条件ではないとも思っています。英語ができなくても、今やスマホ一つで話したいことは翻訳して英語に直してくれます。英語で話されたことも日本語に直してくれます。もっと大事なことは、自分の伝えたい「思い」、や、自分の意見をもつことです。自分の意見をもち、うまく主張できるようにならなければ、海外の方に話を聞いてもらえません。相手の方に尊重・尊敬されるような人物になることがとても大事なのです。これが国際人として育てたい二つ目の能力です。

自分の意見をもつことは、海外の人と話すから身に付くものではありません。ふだんの学級や学年の中での話し合いや、授業を通して身につけていくものです。三つ目にあげられるのは、自分の文化について、知っており、誇りをもっていることです。異文化を背景にもつ方と話をするとき、自分の背景となる文化をよく知っており、誇りをもっている必要

があります。相手の方にしてみれば、〈「自分のことをわかっておらず大事にしていない人」からは、海外の人の背景となる誇りに思う「自分の文化のこともわかってもらえない」「大事にもらえない」〉と感じてしまうからです。このとき、根拠なく「日本人は偉い」「日本は特別」という態度では、コミュニケーションはうまくいきません。海外の方も当然自分の文化を誇りに思っているからです。自分の背景となる文化と同じように、異文化を理解する広い心、多様性を受け入れる寛容性がとても大事になります。これが国際人としての能力の四つ目です。広い心、寛容性は、自分自身に対する自信がないとできません。自分に自信がないと、根拠なく威張るか、弱気になり従うかになりがちなのです。自分に対する自信や、それによる広い心も、学校の中で多くの人と交流し、共に活動する中で身につけていくものです。最後にあげられるのは、国際的な出来事や、課題を自分ごととして考え、解決していこうとする姿勢です。起こっている出来事に流されて生活するのではなく、なんとかして解決をする能力が、国際的に活動・活躍するためには必要です。国際的な出来事を自分ごととして考えるためには、まず、身近な自分が属する社会のことを自分ごととして考えられなければいけません。身近な社会を自分たちでつくり、社会に自分が影響を与えることができるという自信がなければ、大きな社会での課題を自分ごとで考えるようにはならないのです。学校で言えば、クラスや学年での課題を、自分ごととしてどう解決するか。どう楽しくするか、それをぜひ考えられるようになってほしいと思っています。学級・学年でレクレーションをしたり、社会科見学をどのようにするかを考えたり、校則なども自分たちで考えられるようになるとよいと思っています。羽田中学校では、国際教育を進めるに際して、生徒が参画して活動する体制をどんどんつくっていこうと思っています。

さて、国際教育で育てたい能力を5つあげました。

- ① コミュニケーション能力 そして、そのツールとしての英語
- ② 自分の意見をもてるようにすること
- ③ 自分の背景となる文化を知り、誇りをもつこと
- ④ 異文化を理解する広い心、寛容性 それがもてるようになるための自信
- ⑤ 社会の中の出来事を自分ごととして考え、解決しようとする姿勢

そして、そのすべてが学校の中の活動でこそ育っていくものだということを話しました。みなさんが、中学校生活を楽しく過ごすとともに、国際的に活躍できる人物としての能力を、学校生活を通して身につけてくれることを期待します。

終わりにになりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお慶び申し上げます。本日87名の新入生をお預かりし、3年後には心も体も大きく成長した姿で立派に卒業できるよう、指導・支援に全力を尽くしてまいります。

「生徒の健全な成長は、学校と家庭と地域が一体となって、子どもたちを見守り、育むことで実現できる」と考えております。保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力をいただきながら、子どもたちの心身ともに健やかな成長のために全教職員が協力して教育活動を推進してまいりますこととお誓いし、式辞といたします。